

2022年5月17日

株式会社タカラレーベン

タカラレーベングループ DX ポリシー策定のお知らせ ～ 変化の第一歩。一人ひとりの想いを集結した DX ～

株式会社タカラレーベン（本社：東京都千代田区／代表取締役：島田和一）は、2021年5月14日に発表した中期経営計画「7本の柱」のひとつである「DX推進による生産性の向上と新たなサービスの創出」に関するDXポリシーを策定しましたので、お知らせいたします。



■ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは DX推進による生産性の向上と新たなサービスの創出

DXとは、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること※」と定義されています。タカラレーベンでは、「事業・業務の効率化や生産性向上の持続的推進、新たなサービス創出と企業文化の変革」をDXと捉え、お客様、全国各地の地域社会にお住まいの方々のニーズ・要望を基に、最先端デジタル技術やデータを活用しながら、変革を実行していきます。

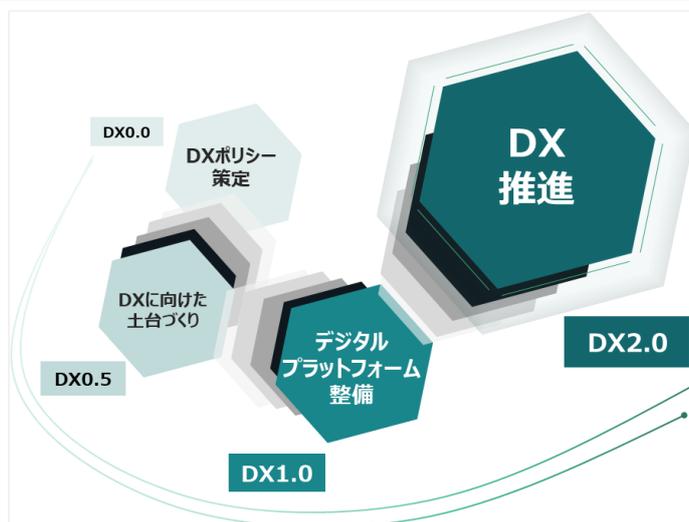
※引用：平成30年12月 経済産業省 デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン（DX推進ガイドライン）Vol.1.1.0

■ DXポリシー

お客様・パートナー・グループ従業員、一人ひとりの想いを集合体にし、DXを推進する。

タカラレーベングループのDXポリシーは、中期経営計画におけるデジタル戦略を具体化し、事業セグメントごとにデジタル施策の「起案・推進・定着化」を積み上げることでグループ企業理念「幸せを考える。幸せをつくる。」の実現の一助とすることを目的としています。

DXの実現に向けて、「DXポリシーの策定（DX0.0）」「DXに向けた土台づくり（DX0.5）」「デジタルプラットフォームの整備（DX1.0）」「DX推進（DX2.0）」のDXジャーニーを設計しており、DX0.0としてポリシーを策定いたしました。



■ DX 基本コンセプト

一人ひとりの想いの集合体。“TL-ISM”の確立へ。

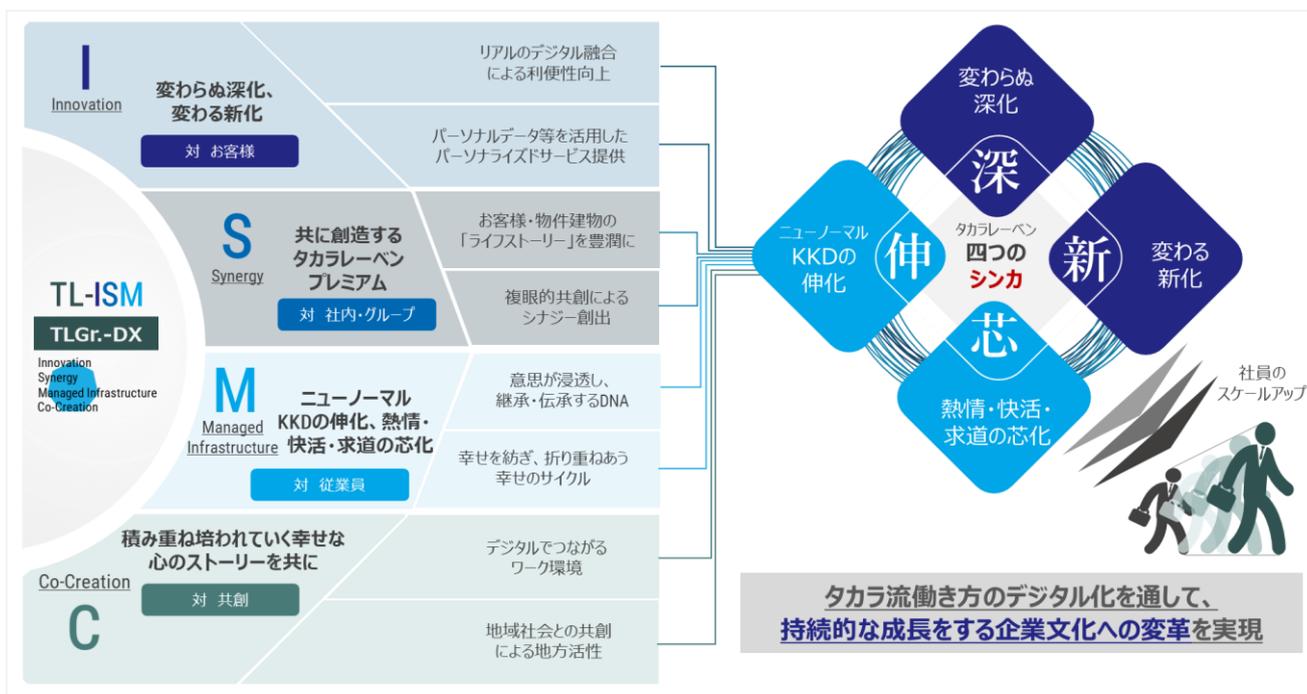
タカラレーベングループでは、DXによって実現したいソリューションを対象ごとに明確にすることで、一人ひとりの想いに寄り添ったDXの推進をコンセプトとしています。



■ シンカの枠組み

四つの“シンカ”で実現する、タカラレーベングループのDX。

タカラレーベングループならではのDXを推進することで、持続的な成長をする企業文化への変革の実現を目指しています。



タカラレーベンではDXに係わる投資費用に関して、毎年度施策効果を検証したうえで増額（2021年度比）していく方針となっており、DX推進による生産性の向上と新たなサービスの創出を推進してまいります。DXポリシーに関する詳細は別添の資料「DXポリシー エグゼクティブサマリー」を参照ください。

■ 会社概要

商 号 : 株式会社タカラレーベン
代 表 者 : 代表取締役 島田 和一
所 在 地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 鉄鋼ビルディング 16F
設 立 : 1972年9月
事 業 内 容 : 自社ブランドマンション「レーベン」・「ネベル」シリーズ及び、
一戸建新築分譲住宅の企画・開発・並びに販売、
エネルギー事業、ホテル事業、建替・再開発事業、海外での不動産販売事業 他
資 本 金 : 4,819 百万円
U R L : <https://www.leben.co.jp/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タカラレーベン

広報部 広報課

担当 : 金野尾

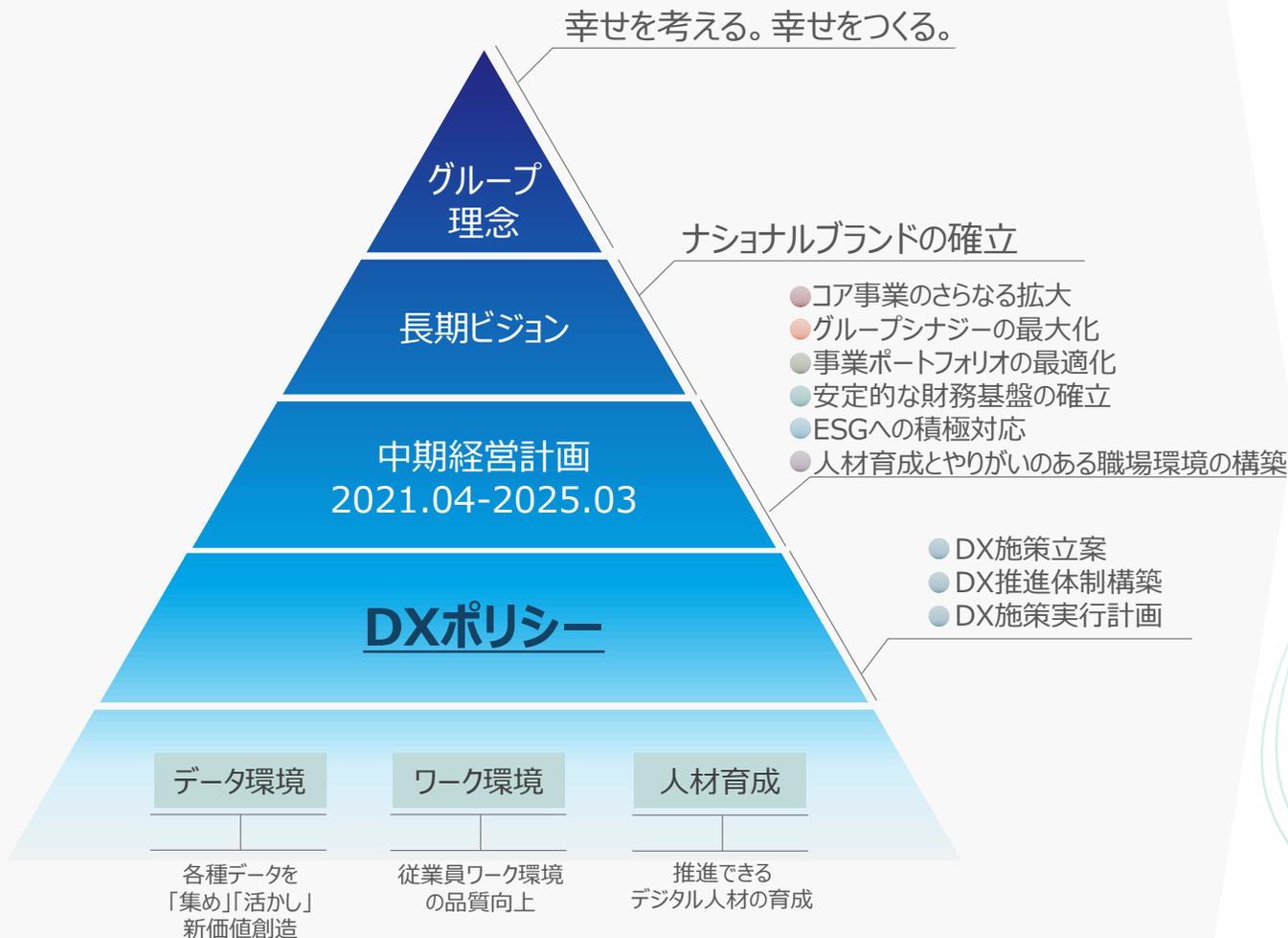
Tel : 03-6551-2130

DXポリシー エグゼクティブサマリー

TL-ISM
TLGr.-DX

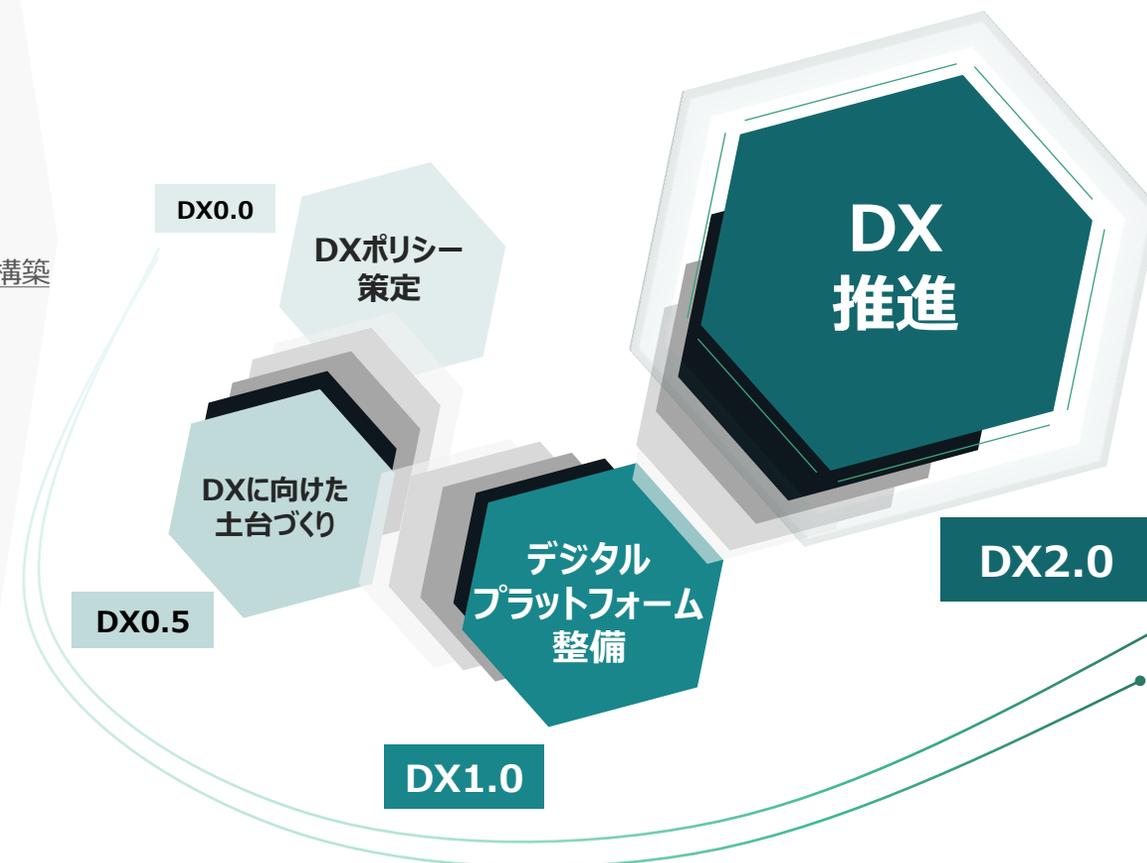
Innovation
Synergy
Managed Infrastructure
Co-Creation

グループ理念とDXポリシーとの概念図



中期経営計画に整合した手段としてのDX

中期経営計画におけるデジタル戦略を具体化し、各事業セグメントでのデジタル施策の「起案・推進・定着化」をすることの積み上げで理念実現の一助とする



TL-ISM

TLGr.-DX

Innovation
Synergy
Managed Infrastructure
Co-Creation

対 お客様

- 営業の強化を実現
- マーケティング、商品・サービスの高度化
- 高度化した業務を支えるデータ活用



深化・新化の促進

タカラレーベンの進化は
変わらぬ深化、変わる新化



Innovation

価値創造を実現する
お客様対応の仕組み

対 社内・グループ

- お客様・物件建物の「ライフストーリー」を
共に積み上げていく土台の実現
- 幸せのサイクルを自身で作りに上げられる土台の実現



多層化・複眼的共創

全TLGr.社員で
共に創造する
タカラレーベンプレミアム



Synergy

グループシナジーを
創出する仕組み

対 従業員

- お客様・関係者全ての幸せと自身の幸せを紡ぎ、折り重ねあえる
幸せのサイクルの実現
- タカラレーベンらしさを伝承するDNA実現に向けた仕組みづくり
(直感を伸ばす高速判断ルール、レジリエンスカ・アサーション力強化etc)



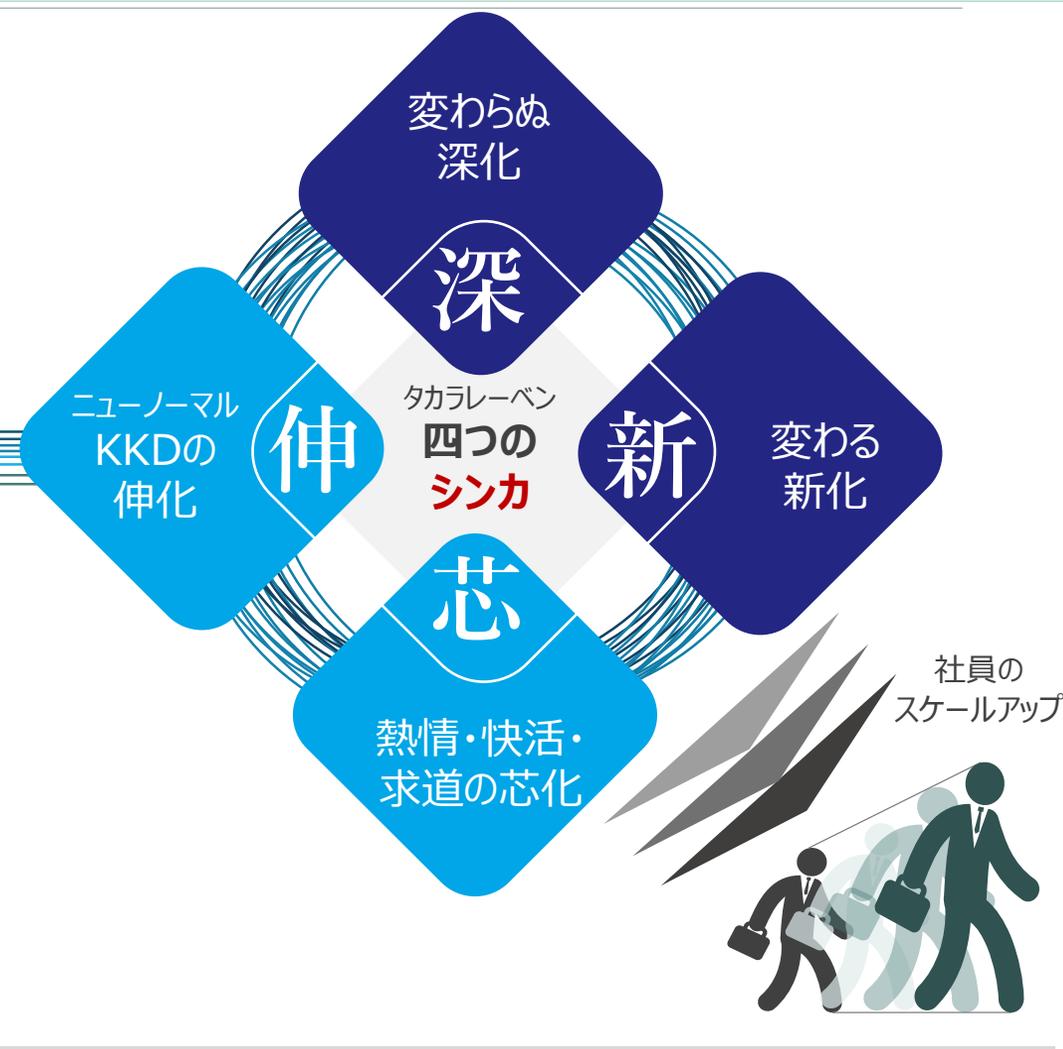
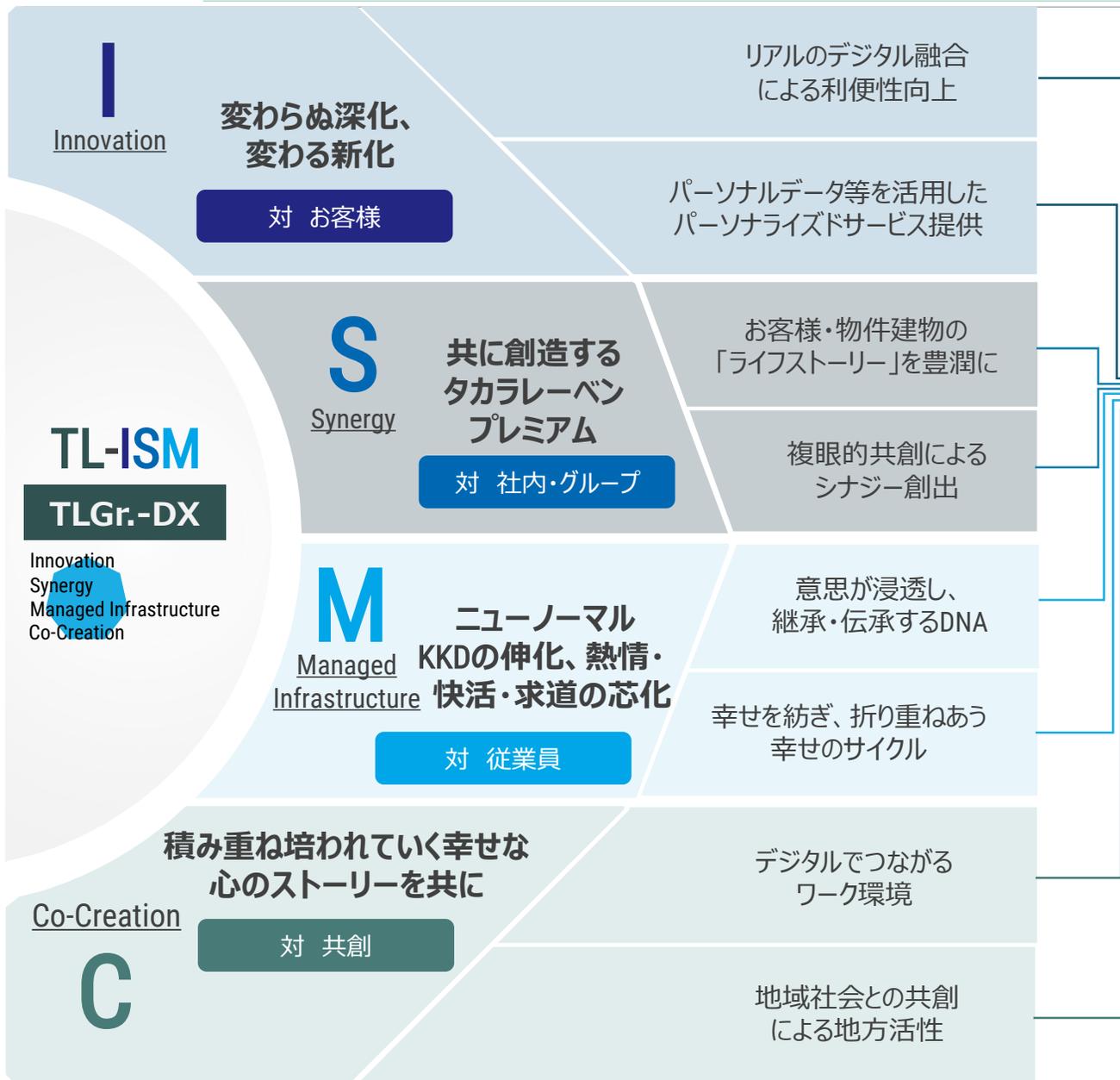
持続的成長の礎 伸化と芯化

持続的な成長をする企業体質へ
ニューノーマルKKDの伸化、
熱情・快活・求道の芯化

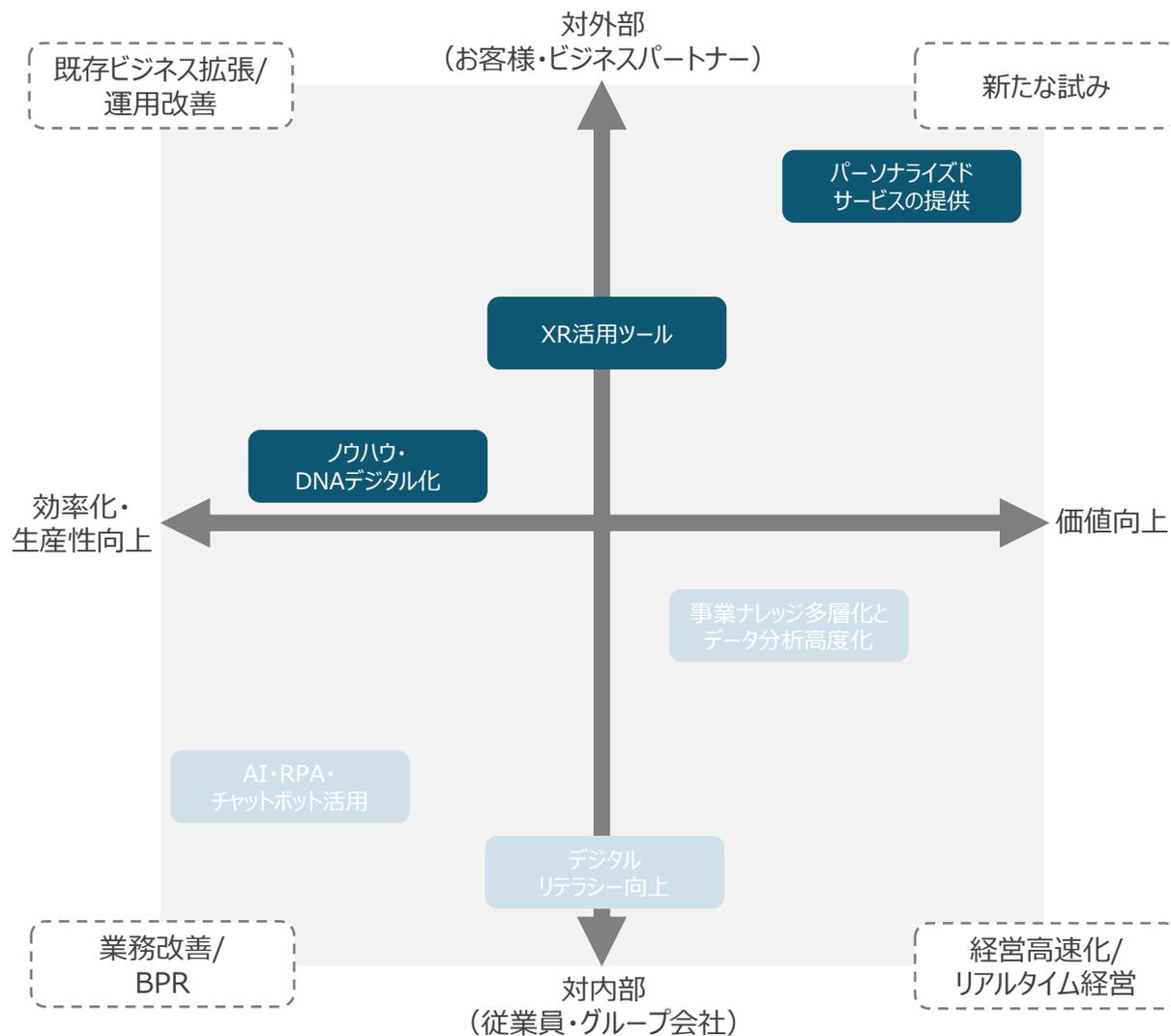


Managed Infrastructure

"I"と"S"を支える
盤石な仕組み



タカラ流働き方のデジタル化を通して、
持続的な成長をする企業文化への変革を実現



ノウハウ・DNAデジタル化

- デジタル化された感覚・感性、センスなどを確認・ロープレできるツール開発
- 何時でもどこでも、確認したいときにデジタル化した情報を確認できる状態を実現
- 個人学習スタイルとして、習熟度・理解度、実行力度等を確認できる状態を実現



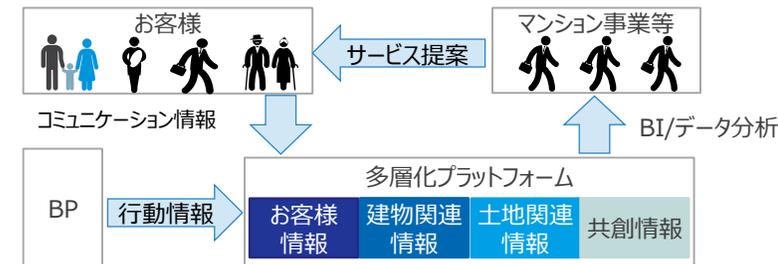
XR活用ツール

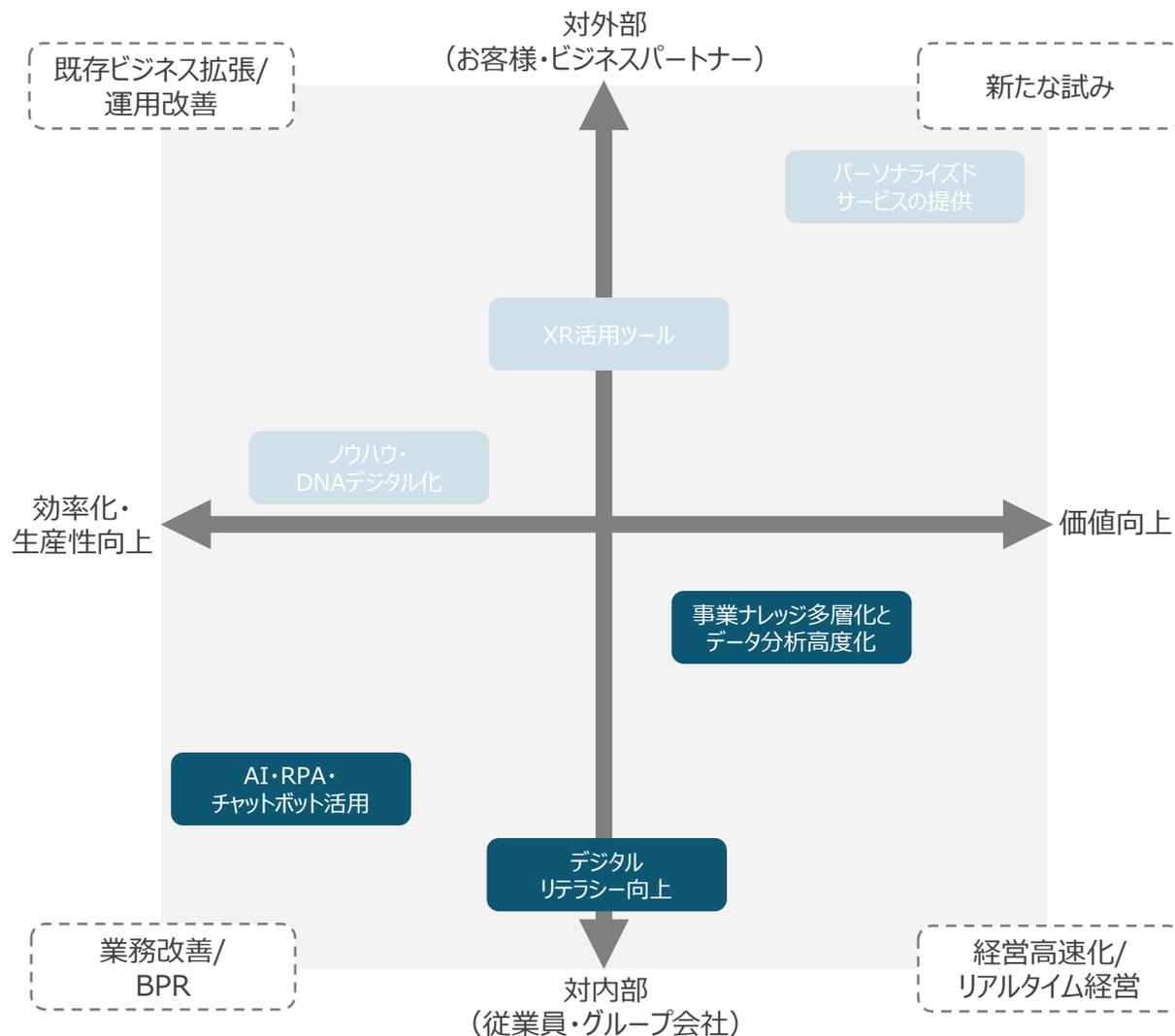
- 設計データに基づくVR空間作成とVRゴーグルを利用した高臨場感・高没入感でより現実味のあるXRモデルルームを体験できる環境構築
- 複数のXRモデルルーム体験の場としての総合サロンの開設
- デジタル化したノウハウ・DNAを最大限に活かすための販売促進ツール開発



パーソナライズドサービスの提供

- お客様のニーズ、好みなどを蓄積、お客様に合った情報を選択して活用、グループとしてのタッチポイントを作成
- 顧客情報が使用されていることにプライドをもって頂けるようなサービス提供を実施





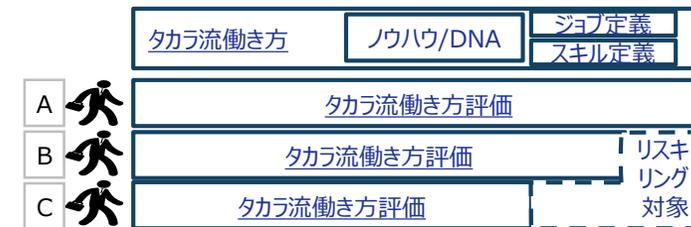
AI・RPA・チャットボット活用

- グループポータル構築、業務プロセス可視化・処理集約
- 法務、人事、会計上処理、システム関連業務のRPA化・AI活用
- 各種問い合わせなどのチャットボット活用



デジタルリテラシー向上

- DX研修などによるデジタルリテラシー向上施策の実施
- データサイエンス活動と連動したロジカルコミュニケーション力向上施策の実施
- リスクマネジメントベースによる規律下でプロがプロとして成長できる行動施策の実施



事業ナレッジ多層化とデータ分析高度化

- お客様、建物、土地、市場情報、従業員関連情報など事業ナレッジを多層化
- 多層化プラットフォームで管理している情報群を有効に活用・分析するための人材育成とデータサイエンス活動サポート窓口の設立



